

# 湊小だより



平成30年(2018年)12月号

湊小学校 校長 戸川定昭

月日が経つのはあっという間、気がつけば平成30年最後の湊小だよりを執筆しております。身も心も、世の中すべてせわしくなる年の暮れ、交通事故も多くなる時期です。保護者の皆様には子供たちへの交通安全指導、より一層お願いいたします。

日本では、旧暦12月を「師走」、「師馳」(しわす・しはす)と呼び、現在も、新暦12月の別名としても用いられています。語源は諸説あるようですが、走るという言葉が示すように、年末の忙しさを示している言葉に間違いはないでしょう。ちなみに、英語で12月は、Decemberですが、この単語は、英語のルーツの一つであるラテン語で「第10の」という意味の「decem」の語に由来しているそうです。昔のローマ暦が3月起算で、3月から数えて12月は10番目ということになります。

いずれにせよ、平成30年の最後を締めくくる月です。終わりよければ全てよし、という慣用句があるように、子供たちには、この一年をしっかりと振り返り、学習内容の整理、復習も頑張って、ラストスパートをかけてほしいと思います。

ラストスパートといえば、校長のプライベートの話になりますが、11月11日、和歌浦ベイマラソン・ウイズ・ジャズのハーフマラソンに出場しました。和歌浦の美しい景色とジャズの素晴らしい演奏と、沿道の方々の声援に後押しされ、ラストスパートをかけ、2時間以内でゴールすることができました。毎朝、4キロのランニングを日課とし、日々鍛錬をしていますが、継続は力なりを実感しました。

## 6年生が修学旅行に行ってきました！

11月5日、6日と奈良・京都方面に修学旅行に行ってきました。好天に恵まれ、訪問先の歴史的な重要文化財である建造物は、青空に生え、より一層、美しく光り輝いていました。子供たちの胸に深く刻まれたことなのでしょう。宿舎でも、他の宿泊客への配慮を怠らず、決まりを守り、集団行動の基本を学ぶことができたと思います。

今年度の旅行の特色は、京都鉄道博物館で、機関車や新幹線の実物展示物に触れながら、日本の鉄道の歴史を学んだことと、夕食後地下鉄で移動し、京都タワーにのぼり、京都の基盤の目のような通りを確認しながら、きれいな夜景を鑑賞できたことです。充実した修学旅行となりました。旅行の経験を、いつまでも忘れず心に刻んで欲しいと思います。

## マレーシアの小学生と交流深める



10月24日、マレーシアの小学生35名と引率の先生が湊小学校を訪問してくれました。児童代表が英語を交えて、歓迎の挨拶をした後、全校児童の歓迎の合唱、6年生の迫力ある湊太鼓、2年生のセリフ付き合唱を披露しました。お返しにマレーシアの小学生は、竹で制作された伝統楽器で演奏してくれました。

後半、4年生以上がマレーシアの小学生とグループに別れて、日本の伝統玩具で遊びながら交流を楽しみました。喜楽会の方々にも、そのグループに入っただき、遊び方を教えていただきました。

日本の伝統的な玩具を通して、言葉や文化の壁を乗り越え、楽しいひとときを過ごせたことと、グループワークの最初の自己紹介で、日頃の授業で学んだ英語を活用できたことは、とても良い経験になったと思います。グループワークでご指導・サポートいただいた喜楽会の皆様、ありがとうございました。